

戦争をしない大人に

こひつじ幼稚園 中村園長が講話

原村弘沢のこひつじ幼稚園で8月31日、中村勝子園長(87)の戦争体験を伝える講話が開かれた。東京出身の中村園長は5歳から9歳のときに太平洋戦争を経験。子どもた

ちに戦争をしない大人になつてほしいと伝えた。園児や保護者、地域住民約40人が聞いた。

毎年この時期に行っている講話。6人きょうだいの末っ子だった中村園長

は東京で暮らして

いた。東京では防

空壕で暮らすよう

になったこと、防

災頭巾を被って外

を歩いたこと、食

料が不足してタン

ポポなど植物を食

べていたことなど

を紹介。7歳のと

き、たった一人で

千葉県の親戚に預

けられて疎開して

寂しかったことも

伝えた。

途中で絵本「まつ黒なお弁当」「かわいそうなぞう」なども見せて、戦争の悲惨さを分かりやすく紹介。「途中で涙が出ちゃった」と話す園児もいた。中村園長は「みんなの手は爆弾を使うような手にはならないで、車いすの人や重い物を持っている人を手伝えるため、握手をするために使ってほしい」と訴えた。



戦中の暮らしを伝えようと、防災頭巾を被って、当時の登校する様子を再現する中村園長